2013 年 1 月 15 日作成

会報 No.8

平成24年第4回定例会（12月議会）報告

市民の皆さん、ご存知ですか？

①高洲中央公園の災害モニュメント建設について
②新庁舎建設について
③「スワンカフェ＆ベーカリー」継続申請拒否について
④市有地をスーパーダイエーに貸付ける件について
⑤入船北・南小学校統合について
⑥指定管理者の選定について（2 件）

①高洲中央公園の災害モニュメント建設について

柳議員と広瀬議員がモニュメント建設の経緯や市民への説明、原因究明調査の必要性、災害時の市民への給水等々の質問災害時の市民への給水等々の質問をした。

行政答弁からわかったことは、

●「広報うらやす」でモニュメントの必要性や市の考えを説明しているとし、近隣住民への説明は特に考えていない。

●コスモ工機（高洲の耐震性貯水槽工事を請け負った会社）が災害査定の調査をし、報告書もある。第 3 者による原因究明の調査は必要ない。その調査報告書は「…していると考えられる。」と推定的な書き方であった。

●震災時はまず、市民が自助努力で備蓄している 3 日間の飲料水が前提になる。市が給水に使う水は避難場所の公共施設に確保しているので、新たな貯水槽は設置しない。

高洲の災害モニュメント建設中止を求める請願（3号）と飛び出してしまった耐震性貯水槽の検証を要望する請願（4号）が出されたが、結果は両方とも否決（下記採決結果表参照）。請願 3 号については3度目であり、趣旨に賛同する署名累計は 4000 筆超であった。

請願3号および4号の採決結果

賛成（6名）	元木、美勢、広瀬、折本、柳、水野
反対（14名）	醍醐、西山、岡本、岡野、深作、末益、宮坂
	秋葉、田村、中村、長谷川、宝、西川、芦田

傍聴者のつぶやき

◆直下型地震があったら、この大型水槽がどうなるのか？　近隣住民の安全は確保できるのか？　否決した議員さんたち、答えて欲しいものだ。

◆原因究明は第3者によりはっきりさせてほしい。

②新庁舎建設について

～やっぱりするの？　新庁舎建設～

H21年度当初に経済の先行き不透明と不安定な政治状況などの理由で一時中断された新庁舎の建設が、東日本大震災のあと災害時における防災拠点としての重要性を根拠に再開され、一年後には新しい庁舎が完成することをご存知だろうか？

市議会ではH24年2月の第1回定例会において水野・広瀬両議員が、6月の第2回定例会では3人の議員（柳、折本、広瀬）が、また12月の第4回定例会では、美勢・広瀬両議員が一般質問でこの問題を取り上げている。答弁に立った行政の担当者によれば、基本計画が固まった段階で広報による周知やパブリックコメントを通じて市民に説明し意見を聴取するとのことである。

液状化の影響でまだ苦しんでいる大勢の市民をさておいて、131億円（基金80億、市債30億、一般財21億）を上限とする予算で10階建ての立派な市庁舎を建てるからには、市民の理解を得るために十分な情報公開と説明が必要ではないだろうか？

傍聴者のつぶやき

◆液状化の被害を受けた市民にとって、復旧がまだ終わっていない現時点での新庁舎建設は納得できないよ。

③「スワンカフェ＆ベーカリー」継続申請拒否について

～新浦安駅前からスワンが消える～

新浦安駅前マーレ1階にある「スワンカフェ＆ベーカリー」の営業に関して、市は平成 25 年 3 月 31 日に契約満了をもって更新をしないと決定した。広瀬議員は、その理由と経緯について質問した。

我々はこの件を「会報№4」で記事にした。

「スワンカフェ＆ベーカリーについての気になる質問」では、市の補助金をもらっているある障がい者団体出身の末益議員が、このスワンベーカリーについて駅前であるという立地条件を考え、見直してはどうかと質問した。それに対し、中村副市長は「施設のあり方を検討する中で、総合的に検討してまいりたい」と回答している。スワンの経営主体である「敬心福祉会」は3月5日に事業継続の上申書を提出したが、認められなかった。さらに利用人数の質問に、市側は1日500人程度と答えている。これは年間延べ約18万人の市民が利用していることになる。浦安市の人口約16万人を上回る数値である。市の施設でこれほど多くの市民が利用しているところを知らない。

傍聴者のつぶやき

◆利用者としては憩いの場所がなくなるのはさみしいよね。利用者の声も聞いて欲しい。

◆特に心配なのはお店で働いている障がい者の気持ちだよね。

◆跡地利用については、市民の意見も聞いてほしいよね。

④市有地をダイエーに貸付ける件について

北栄 3 丁目の旧オリエンタルランド・バスターミナル跡地（4,776 ㎡）は市の所有地だが、ダイエーに貸付け、3 階建てのスーパーになるらしい。今回は美勢議員が質問した。

近隣の商店や住民との話し合いは進行中。

傍聴者のつぶやき

◆本来は、浦安駅前の再開発に活用する目的で市が購入した土地であるはずなのに。地元とよく話し合って欲しいものだ。

⑤入船北・南小学校統合について
～学校跡地の有効活用は？～

入船北小学校を入船南小学校に統合させる計画（平成 27 年実施）が進行している。住民との対話は現在進行中だが、北小学校の跡地利用については、「検討中」とのこと。事前に市民の要望を対話によって汲み取って欲しいものだ。

傍聴者のつぶやき

◆高齢化が進んでいる中町地区に不足している特別養護老人ホームと保育園の併設などが良い案だと思うのだが。
◆跡地利用については、市民とプロジェクトを組んでやったらいかが。

⑥指定管理者の選定について

●議案第25号
『浦安市身体障がい者福祉センターの指定管理者選定』
市は浦安市身体障がい者福祉センターの管理運営を行う指定管理者の公募を行った。補助金が従来の年間 3700 万円から平均 7000 万円にもなる大きな事業である。
応募は4社あったが書類審査およびヒヤリングの結果「パーソナルアシスタンス・とも」が候補者となり、教育民生委員会で審議され2対4で否決されたが、本会議では15対5で可決された。

『委員会で指摘された問題点』
✤審査内容は非公開で不透明である。
✤審査員6名（5名が市職員1名は会計士）の名前が公表されていないのは客観性に欠け、公平性が保てない。一般には外部から選定委員を充てるのが常識である。
✤従来 5 年であったものが 10 年という長期契約は問題がある。
✤「パーソナルアシスタンス・とも」には実績が無い。

傍聴者のつぶやき

◆岡本議員は賛成討論で「10年契約では選挙で議員が変わり、一般質問をしない限りチェックも確認も出来ない。3年か5年でチェックを出来るように指針を改定して欲しい」と言った。
これって反対討論ではないの。
深作議員も「10年契約について、当局はモニタリングやチェックをしっかりすべき」と賛成討論。
これって、市側のチェック体制に不安を感じての発言だよね。

●議案 26 号《浦安市ソーシャルサポートセンターの指定管理者》
応募者は（株）サンワーク1社であった。教育民生委員会で審議され2対4で否決されたが、本会議では15対5で可決された。議案25号と同じ流れであった。

【議案 25 号および議案 26 号の採決結果】

教育民生常任委員会（否決）	
賛成	中村・辻田
反対	広瀬・水野・柳・長谷川

本会議（採択）	
賛成（15名）	宝・末益・西川・宮坂・深作・芦田 西山・岡本・岡野・醍醐・美勢・元木 中村・ 田村・秋葉
反対（5名）	広瀬・水野・折本・柳・長谷川

お知らせ

●シンボルロード復旧・復興工事始まる
新浦安駅前広場と入船から日の出 5 丁目・明海 5 丁目までのシボルロードの液状化対策を含めた復旧工事の予算が可決され、今年から工事がスタートする。地下対策を伴う大規模工事となり市民にとっては良いニュースだが、交通混雑も予想されますので皆さん気を付けてください。

●国民保健料（税）が大幅アップになります
この件については、8 月 15 日の「広報」で現状と課題が説明されています。近隣市と比較してモデルケースで 12 万円/年以上の負担増になります。消費税アップも先に予定されており、庶民の暮らしは厳しくなりそうだ。一方、下がったのは土地の評価です。（固定資産通知を見てください）

●高齢者緊急通報システム
市民に周知徹底されているのか?との質問も今議会であった。

『議長の発言停止』問題のその後

H24 年 6 月議会での議長の発言停止の理由とは、千葉県幹部職員が「本件は浦安市議会で取上げることはおかしい」と発言した、と行政側が回答していることを根拠としているものである。
これは「議会に対する行政の介入」の疑義があるのではないか？として議長に対し「公開質問状」を提出し、二度に亘り回答を求めたが「返事がないのが返事」との返答が議会事務局経由でなされた。
一方、12 月の千葉県議会において、上記の県幹部職員の介入発言が本当にあったのか？との質疑がなされたが、県側（健康福祉部長）からは「あった」との回答はなかった。
これでは発言停止や懲罰となる前提の根拠は無くなってしまうではないか。

あなたが選んだ議員の活躍ぶりを傍聴しましょう！！
一般質問や委員会質疑は議員の皆さんの日ごろの調査や活動の成果が見える場でもあります。

◆発行：「浦安市議会ウォッチングの会」
代表：西島延大
◆連絡先　・e-mail：watching@jcom.home.ne.jp
・fax: 047-355-9079
◆会のブログ：「浦安市議会　傍聴」で検索できます。

会報のポスティングにご協力いただける方のご連絡お待ちしています。